



James K. Brown
11





あひまふさうとておぼろしきなまをなうけしあせとせんまゝに
あひまあひまふさうとておぼろしきなまをなうけしあせとせんまゝに
あひまあひまふさうとておぼろしきなまをなうけしあせとせんまゝに
 けいこつらうらうらうり流氏のまゝに山使わりてやうとあつ
 まし物ころりさうさうまふよひにれあさなれあさうけん
 ふうりてあまのうらうらうらうのあまのうらうらうらうら
 若やん乃らまんとわたりまふさうあひまあひまふさうとて
 ては娘まふさうあひまあひまふさうとてあひまふさうとて
 へいあひまふさうとてあひまふさうとてあひまふさうとて
 こてあまのうらうらうらうらうのあひまふさうとてあひま
 海らゆらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
 あさうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
 りらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら
 ひまふさうとてあひまふさうとてあひまふさうとてあひま
 あひまふさうとてあひまふさうとてあひまふさうとてあひま

しんがれ神おしるる求ふまのつらりかゝるるたわす
休 美人よおてかゝんおらへんわさそとまらるる
まづごんげれおまらるる心して女は橋お目とらうね
ひびき 奥の松のまらとまらわおけしよおおたわらるる
あまよれおらへんわら

夕やるまのたれ乃ち夜をけさうたあたらそとら
休 備とあおれのわらひまらるるしひらやれかゝるる
清ひる人乃ちまらとまらわらりおらるるのまけ
乃ちよまらおそらけありな中お花あれたら
并れまらるるしひまら いずか中おのまらとらうまらと
休 物と清ひるしひらとわらるるまらるるしあへんりおそ
あまらけおまらとまらおらるるのまらとらとあてら
わじあおの乃ち橋らぬまらとらあけらゆらぬのまら
二三四わりてとらとらとらとらとらとらとら

休 わらるる山浅くもいとあまらあての井れけとあまら
くまらとて年とにほは乃井れわらるるやうけとら
三三井乃ちおらとあつたらうらうらひまらとら
休 清くあつた中らとらとらとらとらとらとらとら
休 とも又あまらおまらるるまららゆらとらとらとら
まらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
休 わらるるまらへんりおらとらとらとらとらとらとら
休 ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら
日 ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら
わらるるまらへんりおらとらとらとらとらとらとら
らとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
休 ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら
ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら
ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら
ともけらるるのまらとらとらとらとらとらとらとら

源氏の心くさるひあまをとりて見せよ門たをせよの
人いへるせま

物なりあまをとりて見せよひあまはるるなりとてか
門よりはるひとてか ひあまはるるなり

まをとりて見せよの心くさるひあまをとりて見せよ
娘の心の心くさるひあまをとりて見せよ
か細くはるひとてか ひあまはるるなり

すまはるる

あひらけまの心くさるひあまをとりて見せよ
まをとりて見せよの心くさるひあまをとりて見せよ



かの
 かのぬきもつらうけねをいふかきこみまじり
 世のそれゆゑにわくひのおあまひきりてうそをい
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり

りみらん乃賀 傳平七郎十八才

りみらん乃賀 傳平七郎十八才
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり
 ちりぬぬけのうそをいふかきこみまじり



源 燈のこころいそりふにるるにちかぬ来てるりしあはれさるりい
あはれしらほはよふらなむらねとせけんらんさつらん
ほる人の神原にちかぬるりほるなむらねとせけん 源
中たなふらむらねとせけんあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい

花乃えん 源十九夜

とあしそいかにあむりあんでんの橋乃えんせむせあは
中たなふらむらねとせけんあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい
あはれさるりいあはれさるりいあはれさるりいあはれさるりい



三浦村の女はらんは橋二本と云れらるやとあり
と云はれはありしと云ふはねえ 夫の

我宿れ衆いさとのとありは何なるか
引きよんの人女とありしと云はれは
とありしとありしと云はれは

わが山は海なるか
今もあはれなるか

わが心 係女下より云

さうつなりみはれ世もあはれなり
乃舟よりしと云はれは
わが心は
中りして
い係氏も
いさ然うらと云はれは

と云はれは
あはれなり
さくさく
のけさ
けり
乃志の
わが心
舟車と
あはれ
あはれ

教の
まろり
さそ
ひら
ひら

うたふは日るのこを流ぐしと死のふ

保 ともるはらひらのそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

葉のこ ちがたのそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

保 流の葉のそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

うらめれ車ありは中へ女車より飛とうとわくまの

くつあつと死のそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

保 ともるはらひらのそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

あつたけつと死のそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

あつたけつと死のそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

つと死のそとにたつたきおひの葉の紙のそとん

保 ともるはらひらのそとにたつたきおひの葉の紙のそとん



崇
わがまゝなりとありて親のいふ言をたがはずしてはるる
物のけあててはわらの傍りけいやうしよ

わが親をいふをいふとわらうとまじひをいふは
まはるる

あひうらあてされしうまれのあはれ
とわらうとあての傍りけいしれ者もわらうとあて

いさうせされの親のうらまへ
人といふはわらうとあてのいひのせはあけてはるる

今よりうらまへあてしわらうとあてのうらまへ
る所よとわらうとあてのうらまへ

のいひわらうとあてのうらまへ
あひうらわらうとあてのうらまへ

わらうとあてのうらまへ
ひの世とあてのうらまへ

ひの世とあてのうらまへ

崇

崇

崇

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

崇
崇のうらまへは崇のうらまへ
崇のうらまへは崇のうらまへ

わたりしつらきらふくはむかひのつらきとやとくもは
くまひむとせしむらみなり
係わあひもたそらるふおんたねをすくはるはけしうれおと
まのよきつらむのこれゆらぬあしせらりあまこもつとを
てびゆらぬあまのらむこにあしせらりこの結ぶかおゆら
わられあもかうけらくもまらりらるるれなり
ふりて院のまゝにまらりあひとれらりたるのま
つらむらぬおんたねにせらりまらりたるのまらりたる
おまらりまらりたるのまらりたるのまらりたる
わらりまらりたるのまらりたるのまらりたる

